

令和6年度 第12回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和7年1月22日(水) 19:00開始
2. 場 所 ZoomによるWeb会議
3. 出席者 理事18名中17名、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、安西 浩哉、
近藤 聡史、埴岡 隆、高瀬 美保、奥田 竜子、安枝 和子、
久保 克敏、福島 雄裕、西田 美和子、桜木 由美子(途中参加)、
小林 和典(途中参加)、小野 真由美(途中参加)、
柿田 亜矢子(途中参加)
(監事) 花野 信子、清水 美音子(途中退出)

なお、清水 美音子監事は、「審議事項⑥第六号議案 公式ホッケータウン
認定(追加)の件」後に退席したため、「報告事項①日本代表チームの活動
状況」以降については参加しなかった。

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名中13名が出席しているので本理事会
は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した
旨を告げた。また理事以外として、坂本事務局長、吉満事務局次長、
鈴木事務局次長、内山事務局員の出席の案内があった。

(2) Zoomでの出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適
時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。
その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 第一次補正予算の修正（含む Nations Cup 予算）の件
福島財務総括部長から最新の Nations Cup 予算を織り込んだ補正予算の修正案について、配付されている資料に基づき説明があった。また、永井強化育成本部長から Nations Cup の予算に関して補足説明があった。

花野監事から「前回の理事会で黒字になることを条件に Nations Cup は承認されたと話があったが、事案によっては今後の決算は分からないということか？」との質問があり、福島財務総括部長から「ネガティブな事案がある一方でポジティブな事案もあり、いずれも現段階で不透明なためわかる範囲で作成している」と説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

② 第二号議案 短期借入金の借入れの件

福島財務総括部長から、短期借入金の借入れについて配付されている資料に基づき説明があった。武蔵野銀行から、借入金額 3,700 万円、借入期間令和 7 年 2 月 15 日～8 月 14 日の 6 ヶ月間とし、借入利率については武蔵野銀行からの最終的な提示を受けて決定するというので、審議が行われ、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

③ 第三号議案 コンプライアンス事案（2 件）の報告および再発防止策検討の件

奥田竜子コーポレート本部副本部長（コンプライアンス委員）から、コンプライアンス事案（2 件）の調査結果と再発防止策検討について、配付されている資料に基づき説明があった。

審議の結果、1 件については報告内容につき特段の意見等は出ず、もう 1 件についてはコンプライアンス委員会での責任の所在や処分の要否について再度協議し、次回以降の理事会に諮るとの結論となった。

④ 第四号議案 日本代表チームスタッフ規定の変更の件

永井強化育成本部長から日本代表スタッフの資格、基準等の新規提案について配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

⑤ 第五号議案 第 20 回日本スポーツグランプリの推薦の件

坂本事務局長から第 20 回日本スポーツグランプリについて、マスターズ部

会から「下村 尚」氏（現日本グランドマスターズホッケー協会名誉会長、元日本ホッケー協会マスターズ部会副会長）」の推薦が有った旨、配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

⑥ 第六号議案 公式ホッケータウン認定（追加）の件

柿田ホッケータウン推進部長から、第2回ホッケータウン認定に「広島市安佐北区」から申請があり追加認定する旨、配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

7. 報告事項

① 日本代表チームの活動状況について

永井強化育成本部長から、配付されている資料に基づき報告があった。

② 強化育成本部人事（指導者育成部長）について

永井強化育成本部長から、配付されている資料に基づき報告があった。

③ JOC 令和7年度スポーツ指導者海外研修員および TEAM JAPAN ネクストシンボルアスリートの認定について

永井強化育成本部長から、配付されている資料に基づき報告があった。

④ U-15 カテゴリー一部会から（全中大会等）

U15 カテゴリー一部会の久保理事から、配付されている資料に基づき「全日本中学生ホッケー選手権大会開催」に関する要望がなされた。今後、業務執行理事会で要望書の内容をもとに財源確保などを検討することとなった。

⑤ JHA カンファレンス・ホッケータウンプレサミットの開催

多氣専務理事から、配付されている資料に基づき報告と当日使用する資料の作成への協力依頼があった。

⑥ 全国大会の開催日程および全日本選手権開催地公募について

近藤事業本部長から配付されている資料に基づき報告があった。

⑦ JSC くじ助成・基金助成の申請状況について

坂本事務局長から、令和7年度の JSC スポーツ振興助成事業申請の状況に

について、配付されている資料に基づき、報告があった。

⑧スポンサー・マーケティング活動の状況について
坂本事務局長から、スポンサー獲得に向けた活動状況について口頭で報告があった。

⑨国民スポーツ大会について
近藤事業本部長から、国民スポーツ大会準備室で検討している内容について、配付されている資料に基づき報告があった。

⑩歯・口の外傷研究発表とスポーツ安全保険データまとめについて
埴岡アンチドーピング・インテグリティ委員長から公益財団法人スポーツ安全協会提供の傷害保険金支払実績データによる歯牙損傷の発生件数、発生頻度の状況について、配付されている資料に基づき報告があった。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は 21 時 48 分、閉会を宣言した。